



佛事の常識・非常識



Q:「虫の知らせ」は本当にあるのですか？A:あるのは、そう思う心です

先日もお身内を亡くされたある方から、夢枕に亡くなった方が立ち、何かを訴えようとしている気がするのだけれど、何を訴えてようとしているのか分からない。そういう「虫の知らせ」というのは、本当にあるんじゃないか？というご質問を頂きました。常識ではありえないような夢を見ることは、精神状態によってはよくあることです。亡くなった身内の夢を見るようなことは、決して珍しいことではありません。ただ、そのことが何か起きる前ぶれのように結びつけて考える。あるいは何かが起こったことと関連付けて考えようとする。これが問題なのです。物事がうまく運んでいるときは、さほど気になりませんが、一たびうまくいかなくなると、その原因探しに躍起になります。たいてい好ましくないことが起きると、その手前に起きた何かを「あれは虫の知らせだった」としないと気持ちが落ち着かないからです。不安だからです。どんな事実でも事実として受け止めきれない愚痴という煩惱に人間が覆われている証拠です。「虫の知らせ」と思いたい気持ちがあるだけなのです。

寺ともさん・こぼれ話 今月も寺ともさんの話題をご紹介します。先月の寺ともにご参加の方が約20名、

その内別々に参加した3名の方達がなんと同じスポーツジムに通うお仲間でした。来てびっくりし、後日ジムでも、折り紙の難しさや面白さに花が咲いたそうです。高松は狭いですね。また「50号を突破されて、おめでとうございます。継続こそ力なりですから、素晴らしいです。(中略)ベビーシューズの折り紙もよいですね。一枚の紙から不思議が生まれて大人から子供までに喜びをもたらす魅力が折り紙にあります。駒も良いし……。本当にいつもありがとうございます。」と心温まるメッセージ頂いています。最後は2月9日に新春もちつき会の様子が、NHK高松とれとれマイビデオに出ました。この時、たまたまお風呂に入っていて餅つきをする孫の映像が流れるのを見逃したお祖母ちゃんから、家族の中で私だけ見逃したので、録画しとったら見せてもらえませんかというご連絡を頂きました。録画しておいて本当によかったと思いました。後日お祖母ちゃんにご覧頂くことができました。

ご自慢のペットちゃん

名前：はなちゃん
性別：♀
お年：8歳
種類：ミニチュアダックス
好物：鶏肉・みかん
苦手：寒さ
住所：高尾さん宅(高松市)
性格：穏やか・で賢い



ペットちゃんを募集しています

エピソード：高尾さんちでは、それまで飼っていた全てのワンちゃんが亡くなり、二度と飼うまいと思った矢先に、生まれたての「はなちゃん」の知らせが入り脆くも決心が崩れました。「はな」の名前にちなんで車のナンバーも「ね」の「87(はな)」にし「ねー、はなちゃん」と呼んでいるそうです。亡くなったご主人が大事にしている、いつも同じふとんで寝ました。お父さんがいつか帰ってくるんじゃないかとしば〜らく待っていたそうです。忠犬ですね。

RSK山陽放送イブニングDONDON「きまいこられい」



12/1夕方5時34分放送

昨年末「ロックで広める仏の教え」がRSK山陽放送イブニングDONDON「きまいこられい」のコーナーに取り上げられました。この頃は、夕方5時半にはあたりはまっくらですね。私の隣はアナウンサーの伊久彩乃さんです。

おまけ

3月15日(木)～21日(月)、RSKテレビのVOICE21でおなじみ「ボイス展 in 高松越」が開催されます。今回の先生、芝山せんも出店予定です。おはぎの集演販売をご主人自らされるそうです。お楽しみですね♡
@かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。